



こんにちは！ 細木りょう です。

日本共産党高知県議団ニュース

発行 日本共産党高知県議団

編集 細木 良

No.751

2024年9月15日・22日

県議会控室 823-9524

ファックス 823-9075

携帯090-8972-1478

高知市介良乙3668-11

9月定例会提案概要

補正予算額は約50億円。能登半島地震を受け耐震改修の要望が各自治体から出されており、3億円余りを充てています。またこれまで要望してきた県立高の給食費徴収業務等について、教職員の負担軽減や保護者の利便性向上などを目的に「公会計化」が導入されます。

一方、指定管理者制度における指定管理料の見直しによって県立施設の入場料値上げや、大阪万博関連のイベント費用として7400万円など精査が必要な予算もあります。また高知空港の国際線ターミナル整備費用が当初の倍増となる36億円に膨張していることも質すことが必要です。

高知県議会9月定例会日程

開会 9月19日(木)
一般質問 26日(木)～10月1日(火)
*塚地さち議員登壇
一問一答 2日(水)～3日(木)
*はた愛、岡本かずや、細木りょう登壇
委員会 4日(金)～9日(水)
採決・閉会 10月11日(金)
○議会傍聴よろしくお願ひします。
○詳しい日時はチラシや県議団ホームページをご参照ください。

細木りょうの“まいゆう日誌”

○(写真左)9月1日、介良地区防災学習会へ。能登半島地震の被災地を訪問した3名からそれぞれの立場で報告。深刻なトイレ問題、復興が遅れている要因でもある支援者宿泊施設の確保、木造長屋やムービングハウスなど多様な仮設住宅、歯科医からは口腔環境問題など教訓がたくさんありました。(写真中)同日午後はサッカーJFL首位の高知ユナイテッドの試合を初めて春野で観戦。当日の入場者数は過去最高の11085人。試合は惜しくも負けましたが、あと一息でJ3へ！ぜひ観戦で応援を。

○(写真右)県議会総務委員会は北海道へ視察調査を行いました。東川町では子育てしやすい環境、「ひがしかわ株主制度」や地域内経済循環をすすめるHUC(ユニバーサルカード)、写真文化発信など様々な町独自の取り組みも注目すべきものですが、めざす町のイメージである「適疎」の言葉が示すように、町が自主性を持ち、しっかり未来を描いているところが東川町の良さと感じました。その他札幌市の公共交通や教育課題など学びました。

○8月24日、不登校やひきこもり支援のための「一歩踏み出すためのガイダンス」(主催：NPO法人高知県生涯学習支援センター)吉川清志先生(土佐希望の家医療福祉センター長)の講演、支援団体ごとの相談会などが行われました。県内で様々な団体が支援活動を行っています。ぜひご相談を。

○8月20日、災害ケースマネジメント研修に参加。災害ケースマネジメントとは、被災された方へ自立・生活再建が進むよう専門家の力を借りながらマネジメントする取り組みです。能登半島地震のケースを例に建て替えや中古住宅購入する場合、被災者生活再建支援金(300万円)や能登特例給付金(最大300万円)、有利な返済制度などを活用することによって貯金などがあまりなくても少ない返済で再建できる取り組みなどが紹介されました。

○パリパラリンピックが閉会。オリンピックに続き車いすラグビーなど高知出身選手の活躍は嬉しかったです♪



はみだしヴォイス 台風10号は大きな被害もなく本当に良かったです。しかしまだ油断はできません。どうぞ備蓄など備えを十分に。10月解散総選挙が現実味を帯びてきました。くらし、平和のかかった大事な選挙です。ぜひご支援の輪を大きく広げてください！